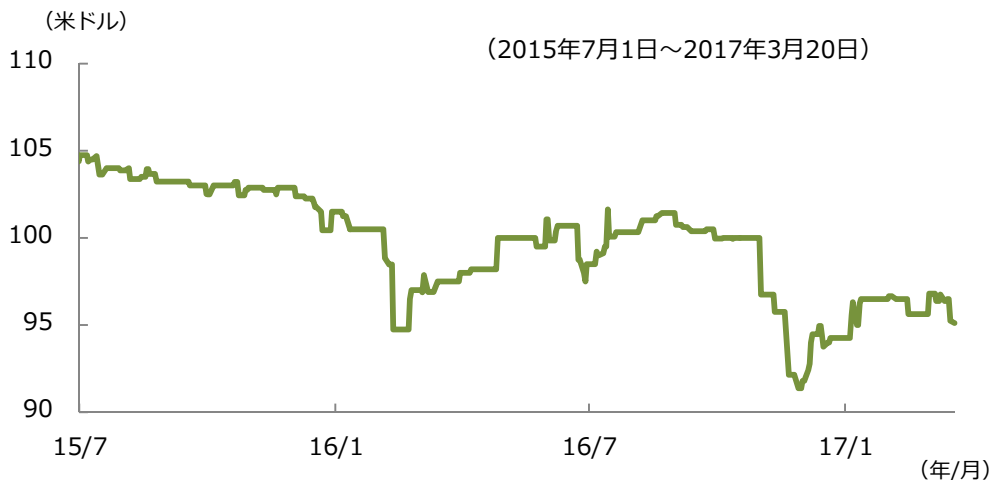


一部優先証券のコールスキップについて

3月17日、クレディ・アグリコル発行の優先証券（クーポン6.637%、償還日無期限）の初回コール（繰上償還）がスキップ（延期）されました。これにより、初回コール日（2017年5月31日）以降、同優先証券は固定利付債（6.637%）から変動利付債（3カ月USLIBOR+1.2325%）に変わります。また、単価95米ドルでの公開買い付けも同時に発表されています。

クレディ・アグリコル（6.637%、無期限）



(出所) Bloombergより大和住銀投信投資顧問作成

2016年11月：スタンダード・チャータード銀行がコールスキップを発表

2016年11月1日、スタンダード・チャータード銀行は、2017年1月に初回の繰上償還可能日が到来する期間の定めのない優先証券を、繰上償還可能日には償還しない方針だと発表しました。

繰上償還を延期する理由は、信用力の悪化ではなく経済合理性にあるものと考えられます。同証券は、最初の繰上償還日以降クーポンが固定金利から変動金利に変わることで、発行体が支払う金利（クーポン）が著しく低くなる仕組み（現在の6.409%の固定金利が「LIBOR+1.51%」の変動金利となる）となっており、自己資本規制上のメリットは無くなるとしても、新たに普通社債を調達するより繰上償還をしない方が有利であると判断したと思われます。

これまでは同銘柄が繰上償還される前提で売買されていたため、今回の方針を受けて価格が10%程度下落したほか、欧州の銀行セクターで同じような属性の一部銘柄も、影響を受けて下落しました。

2017年3月17日：クレディ・アグリコルが初回コールスキップと公開買い付けを発表

クレディ・アグリコルは3月17日、発行する優先証券（6.637%、償還日無期限）の初回コール（2017年5月31日）を行わないと発表するとともに、同優先証券を単価95米ドルで公開買い付けを実施することを発表しました。公開買い付けは他のハイブリッド証券と合わせて、15億ユーロの規模で実施されます。

今回の発表を受けて、同優先証券は公開買い付け価格の95米ドルに取れんしています。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会